

## 地域社会への責任

### 基本的な考え方

矢崎グループは、ものづくりを通じて社会に貢献することに加えて、地域の皆様と協力しながら地域社会の発展に貢献することが大切だと考えており、各地域の課題や期待・要請をよく聞いたうえで、継続的に社会・地域貢献活動を推進しています。また、サマーキャンプなどの取り組みを通じ、次世代育成にも貢献します。

### 将来世代(次世代)の育成

#### 矢崎サマーキャンプ

未来を担う子どもたちに多様な体験の機会を提供するために、矢崎グループの社是・経営基本方針を体現する活動として、従業員子女を対象とした「矢崎サマーキャンプ」を1977年から実施しています。国内従業員の子女を対象としたプログラムだけでなく、海外事業所の子女を日本に招くプログラムもあり、毎年さまざまな国籍の子どもたちが参加しています。このキャンプは、子どもたちにとって新しい出会いや経験の場となるほか、地球環境保全への関心向上や、国際交流により相互理解を深める機会となっています。

また、指導員として参加する従業員にとっても、事前研修やキャンプ本番を通じて、リーダーシップやコミュニ

ケーション能力の向上を図るための研修の場となっています。なかには、過去に従業員子女としてサマーキャンプに参加した人が、その後矢崎グループに入社し、自分が体験したことを子どもたちにも経験してもらいたいという思いをもって、指導員として参加したというエピソードもあります。

同活動は近隣の学校や行政とも連携して進めており、ステークホルダーとの関係構築という意味でも重要な位置づけとなっています。



矢崎サマーキャンプイン・ジャパンの参加者

#### 2018年の開催実績

	国内	海外	イン・ジャパン
対象	国内子女 (小学5・6年生)	国内子女 (中学2年生)	海外子女 (14歳)
開催概要	高知県梶原町 (7/30~8/3) 静岡県東部 (7/30~8/2)	中国 (8/5~8/10) ベトナム (8/17~8/22)	千葉、東京、静岡 (7/21~7/27)
参加者数	子女：220名 指導員：32名	子女：138名 指導員：19名	子女：319名 (35カ国) 指導員：41名
累計	41回/7,598名	32回/5,022名	29回/4,463名

### VOICE

#### サマーキャンプイン・ジャパン2018参加子女の保護者より

矢崎は従業員だけでなく、家族をも大切にできる環境があります。私の息子は、2018年の矢崎サマーキャンプに参加しました。彼はキャンプに参加する2年も前から日本に行くことを楽しみにしていて、あと何日でサマーキャンプに参加できるかをいつも私に話してくれていました。矢崎は真のファミリー企業と言え、これは私が働くモチベーションとなっています。彼はサマーキャンプを経験した後、進んで自分のケアをしたり、5Sにも取り組んだりするようになりました。彼は「またいつか自分で日本に行きたい」と言っており、サマーキャンプは彼を変えるきっかけになったイベントであり、私たち家族にとって思い出深い経験となりました。

YMM(モロッコ) Sadik Hamidi



キャンプを楽しむ従業員子女と指導員

## 2018年度の取り組み

### 図書室で読み聞かせイベントを初開催

Y-CITY（静岡県裾野市）には進出国をはじめとする世界各国の書籍や教科書を集めた図書室があり、従業員が利用するほか、地域の皆様に開放しています。2018年度は、この図書室を利用して地域のボランティア団体にご協力いただき、子どもたちを対象とした絵本の読み聞かせイベントを開催しました。当日は0歳～小学生までの親子61名が参加しました。ボランティアの方が絵本を読み始めると、子どもたちは真剣なまなざしで絵本を見つめ、話に聞き入っていました。今後もこのようなイベントを通して地域の皆様とのつながりを深め、よりよい関係の構築に努めます。



イベントの様子

### 書籍の寄贈などによる社会貢献活動

YEV（ベトナム）では、1995年の設立当初から地域社会の持続可能な発展へ貢献する活動を行っています。2018年度は、事業所のあるBinh Duong省とTra Vinh省の87カ所の学校に本を寄贈しました。また、旧正月（テト）には、経済的に困難な方々や障がいのある方へ贈り物をしました。今後も活動を継続し、社会から必要とされるYEVをめざします。



寄付の様子

### English Camp in YAZAKI開催

矢崎部品（株）ものづくりセンター（静岡県牧之原市）は、牧之原市教育委員会の協力のもと、子どもたちのグローバル化社会への適応力向上と英語に親しむことを目的に、近隣の小学3～4年生を対象とした異文化交流イベント「English Camp in YAZAKI」を開催しました。当日はPET（フィリピン）からコネクタ開発設計センターに出向している従業員がインストラクターとなり、24名の子どもたちがレクリエーションを通して楽しみながら英語を学習しました。今後も矢崎グループの社是を実現するべく、地域の皆様と一体となって、次世代教育支援への貢献に取り組めます。



楽しみながら英語を学ぶ子どもたち

### メキシコ地震被害における支援

メキシコ・チアパスで2017年9月に発生した地震では、多くの人々の家屋が破壊されるなどの被害を受けました。Arnecom（メキシコ）は、矢崎グループの社是に基づき、従業員と地域社会を常に支援するという方針を掲げています。この方針に従い、地震によって家屋の被害を受けた従業員および近隣住民に対し支援金を贈るなどの活動を継続的にを行い、これまで約130世帯の再建に貢献しました。



支援の様子